

市民協働による 新たな図書館サービスの創造

1. 事業の目的

(1) 新たな図書館サービスの創造

図書館は「市民の自立」を支援する生涯学習の場であり、「市民が自ら資料・情報を調べ、自立した知見を持つようにする場」であるとの基本認識に立ち、新たな図書館サービスの創造を図ることを事業の目的とします。そのために、次のコンセプトを基本に事業を計画し、推進します。

コンセプト 1 **市民が支える図書館づくり (広報活動・人材育成)**

コンセプト 2 **市民の生活支援サービスと情報サービス**

コンセプト 3 **千曲川地域文化の創造と発信**

コンセプト 4 **市民交流の場の提供**

(2) 市民協働の図書館づくり

新たな図書館サービスの創造は、本格的な市民協働をベースとして推進します。図書館サービスに市民が主体的に参画する道を講じ、市民の能力と意欲を導入するとともに、市民の声を活かし、市民協働による新しい図書館サービスの構築と手法の開発を図ることがもう一つの目的です。

2. 事業の推進方法

事業はNPO法人上田図書館倶楽部と上田情報ライブラリーが共催して実施し、倶楽部スタッフと上田情報ライブラリー職員が協働して業務に当たります。NPO法人上田図書館倶楽部は、平成16年4月の上田情報ライブラリー開館以来、同館と市民協働の図書館づくりを推進してきた市民団体です。倶楽部は部会活動をベースにするとともに、スタッフ・チーフ制を横断的に組織し、新たな図書館サービスの創造に取り組みます。2年間にわたって事業を継続することにより、新しい図書館サービスの定着を図り、職員とスタッフ・市民が自発的に企画立案する能力を修得し、その後も経験を蓄積して新たな図書館サービス創造の基盤を築くことができます。

以下の事業の実施場所はいずれも上田情報ライブラリー

3. 事業の内容・ねらい、実施場所、実施期間等

コンセプト 1 市民が支える図書館づくり(広報活動・人材育成)

市民の中には専門的な知識・技術や経験を持つ人も多く、図書館への参画意欲も高いものがあります。これらの市民の能力を活かすとともに、職員、スタッフ・市民を対象に人材育成を積極的にすすめます。市民の中に中間指導者を育成することにより、来館しない市民を対象に図書館への理解促進を図り、サービスの輪を広げます。

事業	内容・ねらい	実施期間
図書館の理解促進のための広報活動	広報紙発行とWebによる広報。 ＜ねらい＞市民、特に図書館未利用者に対する図書館の意義の理解促進、利用・参画の意欲促進。	21年6回 22年6回
情報サービス技術スキルアップ研修	「情報検索基礎能力試験」のための勉強会と合格者に対する実務研修。＜ねらい＞情報サービス技術の実践能力の向上。修了者を情報検索サポート、情報リテラシー教育の指導者として活用。	21年10回 22年10回
郷土史・地域資料講座	郷土史と地域資料に関する専門講座。＜ねらい＞主題専門知識の修得と関連資料、専門家、関係機関等の把握。	21年6回 22年6回
絵本読み聞かせ人材育成講座	ワークショップ形式を取り入れた実践的な講座。 ＜ねらい＞市民の中間指導者を育成、講座修了者を派遣するシステムを構築	21年10回 22年4回

コンセプト 2 市民の生活支援サービスと情報サービス

ハイブリット図書館としての上田情報ライブラリーの機能を活かし、市民協働により、生活支援サービス、情報支援サービスを重点的に展開し、市民を支える情報拠点として、次のような新しい図書館サービスを創造します。

事業	内容・ねらい	実施期間
生活支援情報サービス	パスファインダー作成。館内コーナーづくり、Web提供方法構築 ＜ねらい＞生活情報の提供	21年6回 22年6回
時事問題・地域課題解決支援情報サービス	パスファインダー作成、社会資源情報収集。館内コーナーづくり、Web提供方法構築 ＜ねらい＞時事問題関連資料の提供。社会資源の発掘と双方向利用	21年6回 22年6回
情報リテラシー教育・情報収集サポート(ネット&カフェ)	情報検索講座、来館者に対する情報収集個人サポート ＜ねらい＞市民自らが必要な情報収集ができるようになるためのサポート	21年14回 22年14回
コンテンツサービス	新刊雑誌等目次をコピーし利用者閲覧用冊子提供。索引を作成しWeb提供方法構築。 ＜ねらい＞所蔵資料の付加価値と利用者の利便性の向上	21年12回 22年12回

調べ学習や市民の調査・研究を活発にし、その成果の発表の場を提供するとともに、図書館の調査・研究機能や可能性を高め、調査・研究の成果を伝え保存することにより図書館事業の質的向上を図ります。

事業	内容・ねらい	実施期間
執筆編集講座	編集者の指導の下、市民が仕事や生活の体験を記録し冊子にまとめ図書館に寄贈、貸出・保存 ＜ねらい＞ 図書館による「書く」ための支援。市民の記録を地域と未来へ伝える	21年 10回 22年 10回
調べもの学習講座	親子を対象にした上田版の図書館を使った“調べる”学習賞コンクール。講座(4回)、展示(1回) ＜ねらい＞ 図書館を使って調べる楽しさを広げる	21年 1回 22年 1回
地域文化の発掘と創造	図書館を使った調査研究活動、発表会、雑誌発行、DVD 記録、番組制作 ＜ねらい＞ 調べるための図書館利用の促進、地域文化の発掘と新たな文化の創造	21年 1回 22年 2回
千曲川地域の文学講座	千曲川地域の作家による文学講座 ＜ねらい＞ 地域文学の紹介と振興	21年 2回 22年 2回

市民の交流の場としての図書館の役割が重視されています。“ことばの繭ホール文化事業”を引き続き展開するとともに、図書館にカフェを運営している倶楽部の経験を活かし市民交流の場を提供し、交流事業も積極的に展開していきます。

事業	内容・ねらい	実施期間
コンサート	上田情報ライブラリー“ことばの繭ホール”を会場にしたコンサート ＜ねらい＞ 市民交流の場の提供、地域の新人芸術家の発掘	21年 7回 22年 7回
朗読会等	上田情報ライブラリー“ことばの繭ホール”を会場にした朗読会、落語会等 ＜ねらい＞ 市民交流の場の提供、地域の活動グループに発表の場を提供	21年 5回 22年 5回

4. 期待される成果・効果

(1) 新たな図書館サービスの創造と基盤づくり

「市民の自立」を支援する生涯学習の場、「市民が自ら資料・情報を調べ、自立した知見を持つようにする」情報活用の場として、図書館の質的向上をはかり、市民生活に役立つ図書館サービスを創造し、その推進基盤を築くことができます。

(2) 人材育成

図書館職員とスタッフのレベルアップ

継続的で実践的な講習会・セミナーにより、図書館職員・スタッフが、専門的な知識・技術を修得し経験を蓄積して、より新しい図書館サービスを企画立案、実践していくことが期待できます。

市民の中間指導者の育成

市民の中に中間指導者を育成することにより、来館者ばかりでなく市民全体に図書館理解とサービスの輪を広げることが期待できます。

(3) 市民協働・参画システムの確立及び手法の開発

市民団体である NPO 法人上田図書館倶楽部が市民参画の受け皿になって、市民協働・参画のシステム・方法を確立することにより次のような効果が期待できます

市民のもつ経験と能力や知識を、図書館サービスと運営に活かす。

市民自らが発想し、企画・運営することにより図書館を「自らデザインする生涯学習実践の場」とすることが可能。

市民の声を図書館サービスに活かす窓口ができ、市民の多様な要望に応えられる図書館サービスの展開が可能。

新しい情報サービスの手法を開発することができます。

市民が図書館を使って調査・研究・執筆活動等を行う方法・システムを開発することができます。

(4) 事業継続の基盤づくり

2年間の助成事業の実施により、新たな図書館サービス提供の基盤を築くことができ、助成事業終了後も、人材育成の成果と市民協働・参画のシステム確立によって事業を継続して展開していくことが可能になります。